



3 series™

高性能耳かけ型補聴器をお好みの方に

この度はスターキー耳かけ型補聴器をお選びいただき、誠にありがとうございます。

補聴器をお使いになる前に、取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いいただけますようお願いいたします。

なお、取扱説明書はお読みいただいた後も大切に保管し、補聴器の使い方がわからなくなった際には再読下さい。

フィッティングサービスの重要性

補聴器は適切なフィッティング調整により、その効果が発揮されます。

しかし、装用者のきこえの状態によっては、その効果が異なる場合があります。

目次

1. 安全にお使いいただくために	4
2. 各部の名称	6
3. シリアルナンバーなどの記載事項	8
4. 電源の入／切	9
5. 電池の交換	10
電池シールについて	
電池交換のお知らせ音	
6. 電池のフタのロックのかけ方	12
7. 補聴器を装用するには	13
8. 音量／メモリーを調整するには	15
9. 電話をかける時は	16
10. オーディオシューについて	17
11. お手入れをするには.....	18
12. お知らせ音について	21
13. 販売店様へ	23
右/左の目印	
14. おかしいと思ったら	24
15. 表示項目等	26
医薬品医療機器等法第63条の規定による表示保証について	

1. 安全にお使いいただくために

警告／注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。ご使用前によくお読みになり、必ず守ってください。



警告

取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容です。



警告

- ◆ 補聴器本体を、幼児やペットの手の届かないところに保管してください。
- ◆ 補聴器本体を、爆発性の環境に持ち込まないで下さい。
- ◆ 補聴器本体またはイヤチップなどを誤って飲みこまないように十分注意して下さい。
もし飲み込むような事故があった場合は直ちに医師に相談ください。

⚠ 注意

- ◆ 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、車の中など、高温になりやすい環境に補聴器本体及び電池を長時間置かないでください。
- ◆ MRIスキャンは強い磁力を用いる為、故障の原因になります。MRI室には補聴器を持ち込まないでください。また、レントゲン撮影やCTスキャンなどの画像診断機器は補聴器に悪影響を及ぼす為、撮影時には補聴器を外してください。
- ◆ 補聴器を電子レンジで乾かさないでください。内部の電子部品が破壊されてしまいます。
- ◆ 浴室など、湿気の多い場所に補聴器本体及び電池を放置しないでください。
- ◆ 分解、改造などはしないでください。修理の際は、お求めになられた販売店にご相談ください。
- ◆ 電池のフタを無理に開けたり、閉じたりしないでください。故障の原因になります。



2. 各部の名称

◆BTEの場合



① イヤフック

② マイク

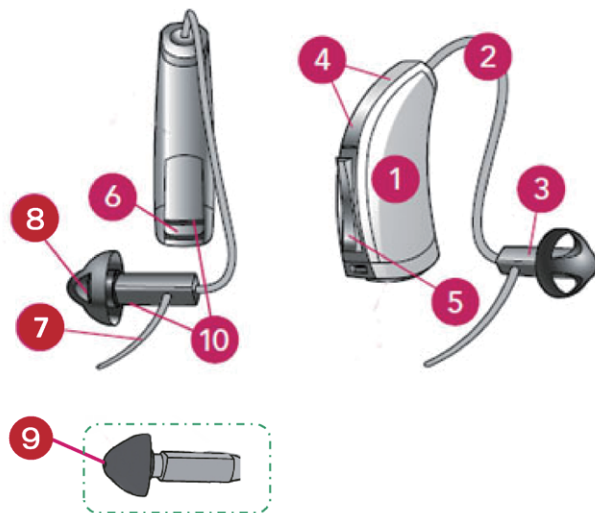
③ シーソー式スイッチ

④ 電池のフタ

⑤ 左右の目印
赤: 右耳用
青: 左耳用

⑥ 電池のフタのロック

◆RICの場合



① 補聴器本体

② レシーバケーブル

③ レシーバ

④ マイク

⑤ シーソー式スイッチ

⑥ 電池のフタ

⑦ リテンション

⑧ オープン用スマートイヤチップ

⑨ スマートイヤチップ

⑩ 左右の目印
赤: 右耳用 青: 左耳用

3. シリアルナンバーなどの記載事項

シリアルナンバー(例: 12-345678)

補聴器本体または電池のフタに記載されたシリアルナンバーは、補聴器を調整する際に大切な情報となります。



4. 電源の入/切

電源入

電池を電池のフタに入れ、閉めると電源が入ります。

電源切

電池のフタを開けると、電源が切れます。



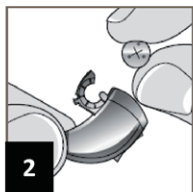
⚠ 注意

- ◆ 電源を入れたままにすると、電池寿命が極端に短くなります。
補聴器を使用しない時は、電池のフタを半開きにして電源を切ってください。

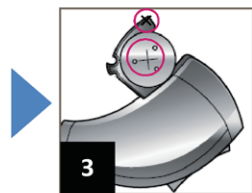
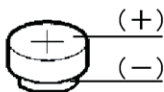
5. 電池の交換



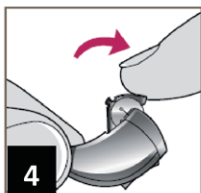
1 電池のフタに爪をあて、矢印の向きに開きます。



2 使用済みの電池を取り出します。



3 電池のフタには(+)記号が表示されています。電池の(+)面を上に入れて入れます。

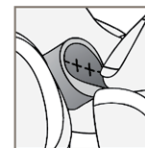


4 電池のフタをもとどおりに閉めます。

補聴器	ご使用の電池 / シールの色
3シリーズBTE312	PR41(312) / 茶色
3シリーズBTE13スタンダード、 BTE13/パワープラス	PR48(13) / オレンジ
3シリーズRIC	PR41(312) / 茶色

<電池シールについて>

電池シールは使う直前にはがしてください。



<電池交換のお知らせ音>

電池電圧が低下すると、電池交換のお知らせ音が鳴ります。お知らせ音が鳴りましたら、できるだけ早く電池を新しいものに交換してください。

「12. お知らせ音について」(P.21)も併せてご覧ください。

⚠ 警告

- ◆ 電池は、幼児やペットの手の届かないところに保管してください。
- ◆ 使用済みの電池はゴミとして捨てずに、販売店にお持ちください。

⚠ 注意

- ◆ 電池を交換する際には、必ず電池フタに正しくのせてから、電池のフタを閉めてください。電池をフタにのせずに直接補聴器内に入れると、故障の原因になります。

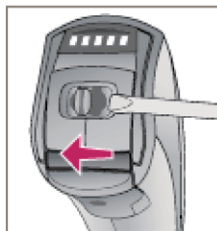
6. 電池のフタのロックのかけ方

※BTE312除く

お子様が電池を誤飲する危険を防ぐために、チャイルドロックが付いています。

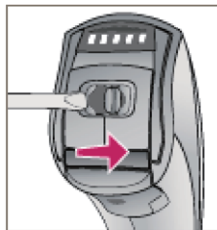
<ロックをかける>

マイナスドライバーなどで、埋め込み式のスイッチをカチッというまで左にずらします。色のついた印が見えます。



<ロックを解除する>

マイナスドライバーなどで、埋め込み式のスイッチをカチッというまで右にずらします。色のついた印が消えます。



7. 補聴器を装用するには

◆ BTEの場合

1. イヤチップ



イヤチップを耳の穴に入れます。



補聴器本体を耳の上に置きます。



装用完了です。

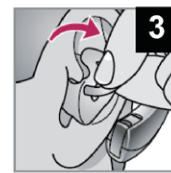
2. イヤモールド



イヤモールドの付け根側のチューブを持ちます。



イヤモールドの先端を耳の穴に入れます。



イヤモールドを後方に回転させます。



イヤモールドを軽く奥に押し込みます。



補聴器本体を耳の上に置きます。



装用完了です。

8. 音量／メモリーを調整するには

◆ RICの場合



イヤチップを耳の穴に入れます。



補聴器本体を耳の上に置きます。



リテンションを耳のくぼみに固定させます。



装着完了です。

シーソー式スイッチで「ボリューム調整」「メモリー切換え」を行います。

①ボリュームコントロール

シーソー式スイッチの上側または下側を押してボリュームの調整を行います。

大きい シーソー式スイッチの上側を押すと音が大きくなり、下側を押すと音が小さくなります。

標準 ※電源を入れた時は、標準の状態です。

小さい

シーソー式スイッチ

上側
下側



②メモリー切換え

シーソー式スイッチの上側または下側を押してメモリーの設定切換えを行います。

メモリー1

※電源を入れた時は、メモリー1の状態です。

メモリー2

スイッチの上側を押すと、お知らせ音が鳴って、次のメモリー設定に切替わります。

メモリー3

スイッチの下側を押すと、お知らせ音が鳴って、1つ前のメモリー設定に切替わります。

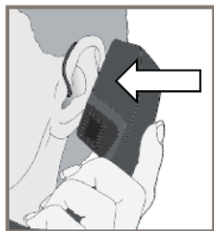
メモリー4

※メモリー2～4は、無効に設定することができます。
無効に設定しているメモリーは自動的にスキップされます。

⚠ 注意

◆ 操作部(シーソー式スイッチ)を必要以上に強く押すと、破損することがあります。

9. 電話をかける時は



受話器を耳に近づけると、電話専用の調整に自動的に切り替わります。

※ 受話器を補聴器に当てるようにすると、うまく切り替わります。



受話器を耳から離すと、通常モードに戻ります。

⚠ 注意

- ◆ コードレス電話、または携帯電話には機能しない場合があります。

10. オーディオシューについて

補聴器に専用のオーディオシューを接続すると、FMシステムなどを使用することができます。

※FMシステムは取り扱いメーカーにお問い合わせください。

<取り付け方>



オーディオシューの黒い部分を補聴器のくぼみにあてます。



矢印の向きにオーディオシューを取り付けます。



フックがカチッとハマったら取り付け完了です。

<取り外し方>



矢印の部分を先に外してから、オーディオシューを取り外します。

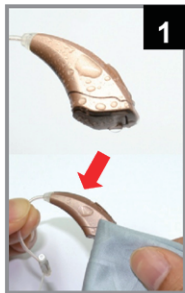
※電池の交換はオーディオシューを取り外してから行ってください。

⚠ 注意

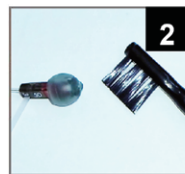
- ◆ 補聴器のタイプにより、専用オーディオシューの形状が異なります。補聴器に応じて正しいシューを接続してください。誤って接続すると故障の原因になる他、脱落するなどの恐れがあります。
- ◆ オーディオシューは弊社純正品をご使用ください。純正品以外をご使用になると故障の原因になる他、脱落するなどの恐れがあります。

11. お手入れをするには

●補聴器本体のお手入れ

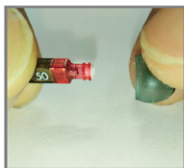


1 補聴器本体表面は、汗や水、汚れなどをはじいて付着しにくい撥水加工が施されています。ただし、本体表面に水滴がついたまま、電池交換をすると電池室内部に水が入るなどして、腐食や故障の原因になる場合があります。水分や汚れが付着した際は、柔らかい布などで、速やかに拭き取って下さい。



2 付属のブラシや綿棒を使い、補聴器本体やイヤチップ、イヤモールド等に付着している耳垢やホコリを取り除いてください。

●イヤチップの取付・取り外し方

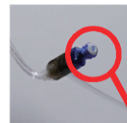


イヤチップをしっかり保持してレシーバーやイヤチューブの根元をしっかり持ち、ひねらずにまっすぐ抜くと、イヤチップを取り外すことができます。取り付ける際には、イヤチップをしっかり保持して、レシーバーやイヤチューブの先端を差込みます。

! 注意

- ◆ イヤチップは弊社純正品をご使用ください。純正品以外をご使用になると、脱落する恐れがあります。
- ◆ イヤチップ、イヤモールドには、使用状況によりカビが発生することがあります。こまめにお手入れをお願いします。

●ホワイトワックスガード(耳垢防止)の交換



※ホワイトワックスガード(ワックスガード標準品)はお客様による交換が可能です。
※ホワイトワックスガードを交換する前に、必ずイヤチップを外してください。

ホワイトワックスガード(耳垢防止)



※先端が金属のメッシュになっています。音が聞こえない・音が小さいなどの場合には、耳垢によって目詰まりをしている可能性がありますので、修理に出す前に、ホワイトワックスガードを交換してください。



交換用キットには
8本入っています

交換用キットの
がま口部分を開
け、棒を1本取り
出します



新しいホワイト
ワックスガード

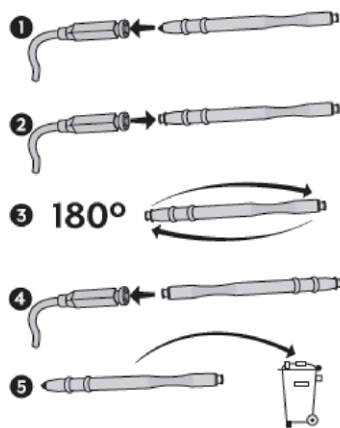
取り外し側

! 注意

- ◆ ホワイトワックスガードは弊社純正品をご使用ください。純正品以外をご使用になると、脱落する恐れがあります。
- ◆ ワックスガードの淵は補聴器の先端に対して必ず平らになるよう装着して下さい。
- ◆ 装着状態が不安定な場合は外れる恐れがありますので御注意下さい。

12. お知らせ音について

<手順>



- ① 新しい棒を取り出し、棒の取り外し側を補聴器のレシーバー孔に軽く押しこみます。
- ② 棒をまっすぐ引き抜きます。
- ③ は棒と一緒に廃棄してください
棒を180度回転させます。
- ④ 棒の反対側についている新しいワックスガードを、まっすぐ差し込みます。
- ⑤ 取り外したホワイトワックスガードは棒と一緒に廃棄してください。

- ※ 棒は再利用できませんので、使用後廃棄してください。
- ※ ホワイトワックスガード、棒及び交換用キットのケースは、プラスチックを主体としています。自治体の分別ルールに従い廃棄してください。

電池交換時期、メモリー切換えなど、補聴器の状態を音声（日本語 / 外国語、 男声 / 女声）またはユニークな音（ビープ音）でお知らせすることができます。設定については、販売店にご相談ください。

お知らせの内容	日本語 (男声 / 女声)	ビープ音
電池交換 電池を交換してください	電池	ピーポーパーポ
パワーオン 電源が入りました	ターラリラン (メロディ音)	プー
メモリー切換え イチ(ニ、サン、ヨン)のメモリーに切り換わります	イチ(ニ、サン、ヨン)	プ(ププ、プププ、プププ)
電話 電話特性に切り替わり ます(オートマチックホン)	※ビープ音と 共通	ピロリロリー
ボリューム最大	※ビープ音と 共通	ピロピロピロピロピロ (5回) プー

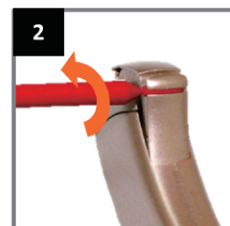
お知らせの内容	日本語 (男声 / 女声)	ビーブ音
ボリューム上げる	※ビーブ音と 共通	ピロピロ・・・(ボリュームによって回数が 変わります)
最適ボリューム 位置	※ビーブ音と 共通	ピロピロピロ(3回)
ボリューム下げる	※ビーブ音と 共通	ピロピロ・・・(ボリュームによって回数が 変わります)
ボリューム最小	※ビーブ音と 共通	ピロ(1回)プー
T2起動 T2リモートまたはT2 オンデマンドを開始 します	※ビーブ音と 共通	ポピー ポピー

13. 販売店様へ

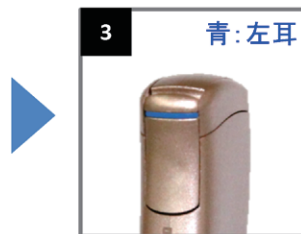
補聴器出荷時は、左右の目印は付いていません。
電池室への湿気の侵入を防ぐためにも、販売する前に右左
の目印を挿入してください。
これにより左右の識別が簡単に行え、誤使用の防止にもな
ります。



左右識別棒を電池ドア
の穴に挿入します。



棒を左に回します。



棒を引き抜きます。

14. おかしいと思ったら

補聴器をお使いの際に、音がきこえない、ピーピー音がするなど、おかしいと思ったら、修理に出す前に以下の内容をご確認下さい。

症状	考えられる原因	対処法
音が聞こえない	○電池切れ	○電池を交換してください。
	○レシーバ孔の目詰まり	○レシーバ孔を掃除してください。 ○ホワイトワックスガードを使用している場合は、交換してください。
ピーピー音がする	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。
	○補聴器が正しく装着されていない	○取扱説明書の「7. 補聴器を装着するには」をご覧ください。
音がとぎれる 雑音がある	○電池の消耗	○電池を交換してください。
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。

症状	考えられる原因	対処法
音が小さい	○電池の消耗	○電池を交換してください。
	○レシーバ孔の目詰まり	○レシーバ孔を掃除してください ○ホワイトワックスガードを使用している場合は、交換してください。
	○マイク開口部の目詰まり	○マイク開口部を掃除してください。
電池交換後、 電池のフタが閉まらない	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。
	○電池の極性が逆	○本取扱説明書の「5. 電池の交換」をご覧ください、正しい向きに入れてください。
	●補聴器内に異物	●販売店にご相談ください。
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。

注意

- ◆ 電池のフタを閉める際に、力を入れすぎると破損の原因になります。閉まりづらいつと感じたら、電池の向きや補聴器の中に異物が入っていないか確認してみてください。異物が入っている場合、無理に取り出そうとすると、内部が破損する原因になります。このような場合には販売店に遠慮なくお問い合わせください。

医薬品医療器等法第63条の規定による表示

製造販売業者名: スターキージャパン株式会社
住所: 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23
一般的名称: 耳かけ型補聴器
販売名: Xシリーズ耳かけ型
区別: 管理医療機器
製造番号: 製品本体
認証番号: 223ADBZX00106000


保証について

修理が必要な際には、お買い求めいただいた販売店にお申し付けください。
その際、販売店には出来るだけ詳しい状況をご説明いただけますようお願いいたします。
また、保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

お買い上げいただいた補聴器の保証書につきましては、内容をよくお読みいただき、無くさないよう大切に保管いただけますようお願い致します。



スターキージャパン株式会社

 0120-045-190

第2種医療機器製造販売業許可番号:

14B2X00027

登録番号: 14BZ000426

医療機器認証番号

Xシリーズ耳かけ型: 223ADBZX00106000

〒222-0033

神奈川県横浜市港北区

新横浜2-6-23



MD84856/ISO 13485

BKLT0071-00-JJ-JP JPYBK-071